



ノロウイルス胃腸炎

Vol.35
2019年2月12日

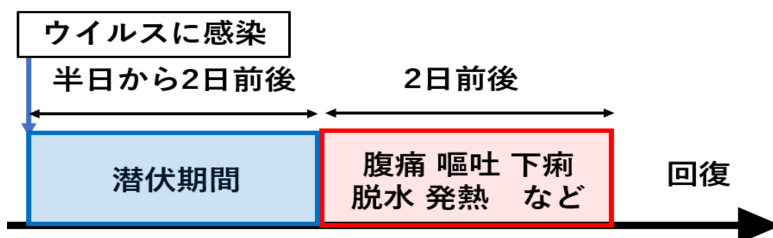
毎日インフルエンザのニュースに目を奪われますが、インフルエンザだけでなく胃腸炎も流行しています。今回は特に冬季に流行するノロウイルスによる胃腸炎について勉強しましょう。

感染性胃腸炎はウイルスや細菌などが原因の嘔吐や下痢を主症状とする感染症です。中でもノロウイルスによる胃腸炎は冬季に流行し全年齢層で発症します。

ノロウイルスの経過

ノロウイルスの感染経路

- ①感染した人が調理などをして汚染された食品を摂取
- ②患者の糞便や嘔吐物のウイルスが手指などを介して口から体に入る
- ③ウイルスに汚染された井戸水や二枚貝（カキなど）などを十分に加熱調理せず食べるなどにより感染します



ノロウイルスの治療

ウイルスに対する薬はなく必要に応じ対症療法を行います。乳幼児や高齢者など、体力の弱っている人では嘔吐下痢や食欲不振による脱水のほか窒息にも注意をする必要があり特に水分補給が重要になります。

ノロウイルスの予防

- ①石けんを使って流水でしっかり手洗いをする。
- ②カキなどの2枚貝の生食を避け90℃で90秒以上中心部までしっかり加熱する。
- ③患者の嘔吐物や糞便はすぐにふき取り家庭用塩素系漂白剤を水で薄めた消毒液で消毒する。
家庭用の塩素系漂白剤は多くが塩素濃度5%前後のため、吐物の処理には50倍希釈、食器やドアノブなどの消毒には250倍希釈で使用します。
(目安ですので十分確認の上、また決して誤飲することがないように気を付けて使用してください)

一言コラム 国内初、飲酒量低減薬が承認

大塚製薬株式会社はアルコール依存症患者における飲酒量を低減する治療薬として「セリンクロ錠10mg（一般名：ナルメフェン塩酸塩水和物）」の国内製造販売承認を取得したと発表しました。飲酒の1～2時間前に服用することで飲酒欲求を抑え、アルコール依存症患者さんの飲酒量を低減する効果があるそうです。

日本国内ではこれまでアルコール依存症の患者さんが飲酒量を減らしていく過程を補助する薬剤なく、今後アルコール依存症の患者さんの節酒減酒に役に立つことが期待されます。



ニュース インフルエンザ大流行中

インフルエンザの流行が拡大し、定点医療機関における1日のインフルエンザの患者さんの数は1999年以降で最多だそうです。現在流行しているのはA型の2種類（AH1pdm09（50%）、AH3亜型（49%））で、B型はほとんど見られない（1%）そうです。

インフルエンザは飛沫感染（咳やくしゃみなど）や接触感染（ウイルスが付着した手で口をさわるなど）により広がります。

飛沫感染対策としてマスク着用や咳エチケット、接触感染対策として石けんなどでの手洗いや、アルコールなどによる手指の消毒が重要です。流行している時は、人混みを避け感染の機会を減らすことも重要です。



糖尿病ってどんな病気？その25 糖尿病の薬 GLP-1受容体作動薬

GLP-1は消化管（主に小腸下部から大腸）から分泌される消化管ホルモンです。多くの作用があることが分かっていますが、膵臓ではブドウ糖濃度依存性にインスリン分泌を促進し血糖値を低下させます。このため単独では低血糖を起こしにくいという利点があります。GLP-1はDPP-4により分解され失活するため、DPP-4に分解されにくくGLP-1に模して造られたのがGLP-1作動薬です。

GLP-1作動薬はすべて自己注射が可能な注射薬です。製品により1日2回注射のものから週1回注射のものまで種類があります。大まかな特徴としては、頻回注射のものは食後血糖の抑制作用が強く消化管への影響により腹満感や悪心、便秘や下痢といった消化器症状が出やすい（少量から開始することにより軽減可能なことが多い）、注射回数の少ないものは空腹時血糖の低下作用が強く、消化器症状は少なめです。

GLP-1作動薬は薬剤によっては体重減少効果が示されているものや心血管保護作用が確認されているものもあり、米国では抗肥満薬としても承認されているものもあるそうです。薬剤としては比較的新しく、まだ未知の作用があるのかもしれませんが。

週1回自己注射製剤 トルリシティ（リリー社ホームページより）⇒



お知らせ 年度末が近づいています

平成30年度（2018年度）末が近づいています。年度が変わると、特定健診やワクチンなど補助の期間が終了し補助が受けられなくなるものがあります。必要なものを確認し、まだ受けておられないものは早めに受けるようにしましょう。

医療法人
森田医院

所在地：大阪府寝屋川市八坂町6-23 電話：072-821-0446
ホームページ：<https://www.moritaclinic.or.jp>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日 祝
9時-12時30分	○	○	○	-	○	○	-
17時-19時30分	○	○	○	-	○	-	-



※受付時間 午前 08:30 ~ 12:30 午後 16:30 ~ 19:30
午前は8時30分、午後は16時30分に解錠し受付を開始します。